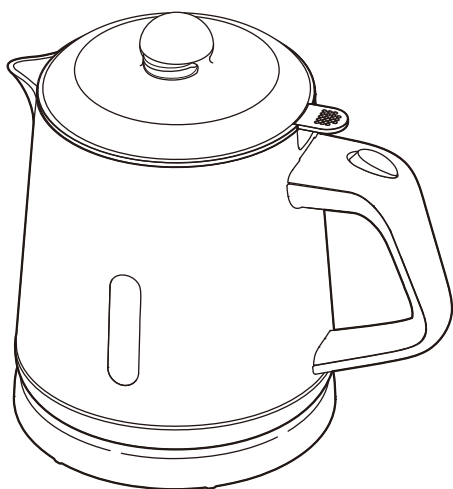


取扱説明書

電気ケトル
保証書付（裏表紙）

ANGC-EKL10-A



この度は、e angle 電気ケトルをお買い上げいただき
まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき
正しいご使用をお願いいたします。
また、この取扱説明書はいつでも見る事ができる所に
保管してください。

この製品は日本国内用に設計されていますので、
日本国外では使用できません。
この取扱説明書の内容は改善のため、
予告なく変更することがあります。

FOR USE IN JAPAN ONLY.

もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえ	6
使いかた	7
お手入れのしかた	10
保管のしかた	13
故障かな？と思ったら	13
仕様	14
アフターサービス	15
保証書	裏表紙

安全上のご注意

使用する前に「安全上の注意」をよく読み、必ず守ってください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しく使用するためや、使用する人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○記号は、禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は、分解禁止）が描かれています。



●記号は、強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

※読んだあとは、使用する人がいつでも手に取れる場所に、必ず保管してください。

警告

■ 電源コード・電源プラグについて



電源プラグは、根元まで確実に真っ直ぐ差し込む

●発熱・感電・火災の原因になります。

指示に従う ○斜めに差し込まない。



電源コードや電源プラグが傷んだり、差し込みがゆるいときは、使用しない

禁止

●ショート・感電・火災の原因になります。
○電源コードが破損した場合、コードの交換は危険を防止するために、製造業者若しくはそのサービス代理店又はこれらと同等の有資格者によって行わなければならない。



破損、故障、異常があったり、電源コードや電源プラグが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する

指示に従う

●やけど・感電・火災の原因になります。
※故障・異常例
P15の「こんな症状はありませんか」を参照して異常があるときは、直ちに使用を中止する。
必ず電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検や修理を依頼してください。



家庭用コンセント（AC 100V、定格15A以上）を単独で使用する

●家庭用コンセント（AC100V）以外で使用すると、誤作動・故障の原因になります。

●コンセントや配線器具の定格を超える使いかた（タコ足配線など）をすると、異常発熱・火災の原因になります。



定期的に電源プラグのホコリをふき取る

●電源プラグにホコリがたまると、湿気によって絶縁不良となり、ショート・感電・火災の原因になります。

○電源プラグのホコリは、乾いたふきんでふき取る。



電源コードや電源プラグを傷つけたり、破損させたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、たばねて使用しない

禁止

●ショート・感電・火災の原因になります。
○使用するときには、必ず結束バンドを外して、電源コードをのばす。



電源コードの上に、電源プレート、本体、物をのせたり、挟み込まない

禁止

●ショート・感電・火災の原因になります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

●ショート・感電の原因になります。

ぬれ手禁止

■ 電源コード・電源プラグについて つづき

 電源コードを引っ掛けないように注意する ● 本体や電源プレートが落下や転倒して、故障・けが・やけどの原因になります。 指示に従う	 使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く ● 感電・漏電火災の原因になります。 プラグを抜く
--	---

■ 設置について

 禁止 熱に弱い敷物（テーブルクロスなど）の上や燃えやすい物（カーテンや新聞紙など）が周辺にある場所に設置しない ● 変色・発煙・火災の原因になります。	 設置場所や設置のしかたには、十分注意する ● 下記のような設置をすると、不意に本体や電源プレートに接触したり、電源コードを引っ掛けたり、引っ張ったりして本体が転倒し、やけどの原因になります。 ◎ 床（フローリング、畳、じゅうたん）に直置きしない。 ◎ お盆にのせた本体を床（フローリング、畳、じゅうたん）に置かない。 ◎ 設置する台（テーブルやキッチンカウンターなど）から、電源コードを垂らさない。 ◎ 人が通る場所に電源コードを置かせない。
 安定した水平な場所に設置する ● 本体や電源プレートが落下や転倒して、故障・けが・やけどの原因になります。 指示に従う ◎ 不安定な場所に設置しない。	 水がかかる場所、水にぬれた場所、湿気の多い場所に設置しない ● 故障・感電の原因になります。 水ぬれ禁止
 禁止 可燃性ガスや引火性の物（ガソリンやシンナーなど）がある場所に設置したり、スプレー缶（掃除用、整髪用、殺虫剤など）を近くに置かない ● 爆発・火災の原因になります。	

■ 使用について

 分解禁止 分解、修理、改造をしない ● やけど・感電・火災の原因になります。 ※ 修理は、お買い上げの販売店に依頼してください。	 禁止 子供や取り扱いに不慣れな方だけで使用しない 乳幼児の手の届く場所で使用したり、保管しない ● けが・やけど・感電の原因になります。 ◎ 本製品は、安全に責任を負う人の監視又は指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む。）が単独で機器を用いることを意図していない。 ◎ 本製品で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。
 禁止 付属の電源プレート以外を使用したり、他の製品に使用しない ● 故障・異常発熱・火災の原因になります。 ● 付属の電源プレートは、本製品専用です。 ◎ 他製品の電源プレートを使用しない。 ◎ 他製品に転用しない。	 禁止 本製品を直火にかけたり、電磁調理器（IHクッキングヒーター）、電気ヒーター、電子レンジで使用しない ● 故障・火災の原因になります。
 禁止 接続部に異物や金属物（ごみ、ホコリ、針金など）を入れたり、付着させない ● 故障・ショート・感電・火災の原因になります。 ◎ 汚れやホコリが付着したときは、乾いたふきんで必ずふき取る。	 禁止 MAX目盛り以上水を入れない ● お湯が吹きこぼれて、やけどの原因になります。
 禁止 接続部をなめさせない ● 故障・けが・感電の原因になります。 ◎ 乳幼児や動物（犬や猫など）が誤ってなめないように注意する。	

■ 使用について つづき

 水以外の物を入れて加熱しない ● 水以外の物（お茶の葉、ティーバッグ、牛乳、酒、スープ、インスタント食品、レトルト食品など）を入れて加熱すると、焦げつき・腐食・故障したり、吹きこぼれてやけどの原因になります。 ◎ 湯沸かし以外に使用しない。 禁止	 氷を入れて使用しない ● 結露が生じて、故障・感電の原因になります。 禁止
 ふたを取り外したまま加熱をしない ● 加熱が正常にできなったり、お湯が飛び散ったり、吹きこぼれたり、蒸気に触れて、やけどの原因になります。 禁止	 空焚きをしない ● 故障・やけど・火災の原因になります。 ◎ 水が入っていない状態で加熱しない。 禁止
 お湯を注いだり、ふたを取り外すときは、蒸気に触れたり、電気製品、電源プラグ、コンセントに蒸気があたらないように注意する ● やけどの原因になります。 ● 電気製品が故障したり、感電・火災の原因になります。 ◎ 蒸気に触れないように注意する。 指示に従う	 ふたは、確実に取り付ける ● お湯が飛び散ったり、吹きこぼれたり、蒸気に触れたり、注ぐときにお湯がこぼれて、やけどの原因になります。 指示に従う
 加熱中や加熱後しばらくの間は、本体や注ぎ口に手や顔を近づけたり、触れない ● やけどの原因になります。 ◎ 加熱中や加熱後しばらくの間は、本体が熱くなるので注意する。 ◎ 特に乳幼児には、触らせないように注意する。 接触禁止	 加熱中にふたを取り外して足し水をしない ● お湯が飛び散ったり、吹きこぼれたり、蒸気に触れて、やけどの原因になります。 禁止
 本製品をゆすったり、転倒させない ● お湯がこぼれて、やけどの原因になります。 禁止	 電源プレートに本体をのせたまま持ち運ばない ● お湯がこぼれて、やけどの原因になります。 禁止

■ お手入れ・保管について

 お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く ● やけど・ショート・感電の原因になります。 プラグを抜く	 お手入れのときは、本体が十分冷めてからおこなう ● やけどの原因になります。 指示に従う
 本体や電源プレートを水に入れたり、水をかけたり、丸洗いをしない ● 故障・感電・火災の原因になります。 水ぬれ禁止 ◎ 接続部は、絶対にぬらさない。	 各種スプレー（掃除用、整髪用、殺虫剤など）を吹きつけない ● ガスが滞留して、爆発・火災の原因になります。 ● 変色・破損の原因になります。 禁止
 包装用ポリ袋は、子供の手の届かない場所に保管する ● 誤って顔にかぶったり、巻きついたりして、窒息する原因になります。 指示に従う	

■ 電源コード・電源プラグについて

 電源コードを引っ張って電源プラグを抜かない ● ショート・感電・火災の原因になります。 ◎ 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って、真っ直ぐ抜く。 禁止	 電源コードを持って電源プレートを引っ張らない ● 本体が転倒してやけどをしたり、ショート・感電・火災の原因になります。 禁止
	 電源プラグを抜くときは、必ず湯沸かしスイッチをOFFにしてからおこなう ● 故障の原因になります。 指示に従う

■ 設置について

 油、油煙、金属粉が発生する場所（厨房や工場）やホコリの多い場所に設置しない ● 変形・故障・感電・火災の原因になります。 禁止	 屋外に設置しない ● 故障・感電・火災の原因になります。 禁止
 直射日光が当たる場所、火気や熱源（コンロや暖房器具など）の近くに設置しない ● 変色・変形・火災の原因になります。 禁止	

■ 使用について

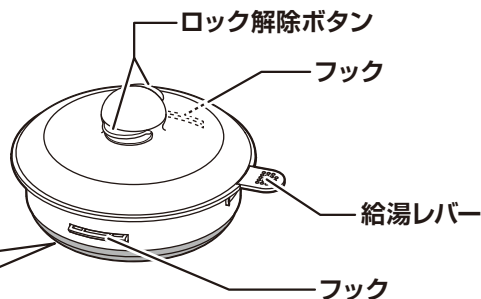
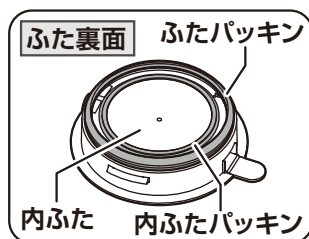
 本製品は、一般家庭用です。家庭内以外で使用しない ● 無理な負担がかかり、故障・過熱・火災の原因になります。 ◎ 本製品は、家庭内で使用するように意図しています。 次のような不特定多数の人が使用できる環境下での使用は意図していません。 ■ 店舗、事務所及び他の作業環境内のスタッフ用台所区域 ■ 農家 ■ ホテル、モーター及び他の住居タイプの環境での顧客が使用するもの ■ 朝食付き簡易宿泊施設（ベッド及び朝食付きホテル）タイプの環境 禁止	 動物（犬や猫など）がいる部屋で使用するときは、十分注意する ● 本体、電源プレート、電源コードを傷め、故障・感電・火災の原因になります。 指示に従う
	 お湯を注いだり、ふたを取り外すときは、壁、家具、キッチン棚に蒸気があたらないように注意する ● 壁、家具、キッチン棚が変色したり、傷める原因になります。 指示に従う
	 落としたり、強い衝撃を与えない ● 破損・故障・けがの原因になります。 ◎ 本体や電源プレートの上に物をのせない。 禁止

■ お手入れ・保管について

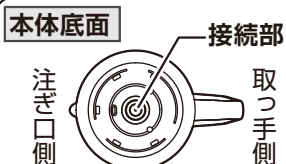
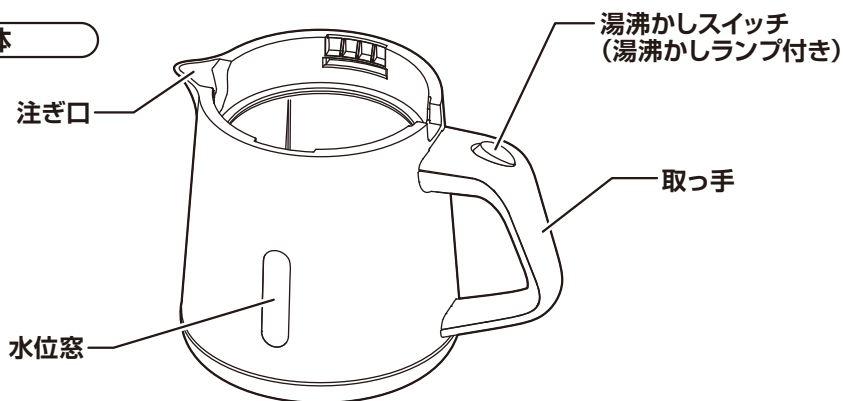
 お手入れには、シンナー、ベンジン、漂白剤、みがき粉、たわし、スポンジの研磨面、金属ブラシ類は使用しない ● 傷・変色・破損の原因になります。 ◎ お手入れは、P10～12の「お手入れのしかた」を参照する。 ◎ 傷がつきやすい物ややかい物でお手入れをしない。 禁止	 使用後は、お手入れをする ● 水アカが付着したり、異臭の原因になります。 ◎ 残ったお湯は捨て、こまめにお手入れする。 指示に従う
	 食器洗い乾燥機や食器乾燥機で洗ったり、乾燥させない ● 変形・破損・やけどの原因になります。 禁止

各部のなまえ

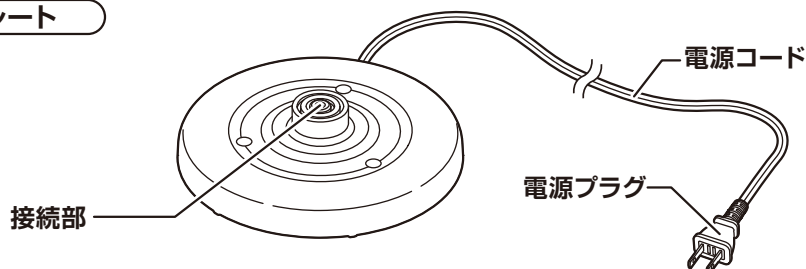
ふ た



本 体



電源プレート



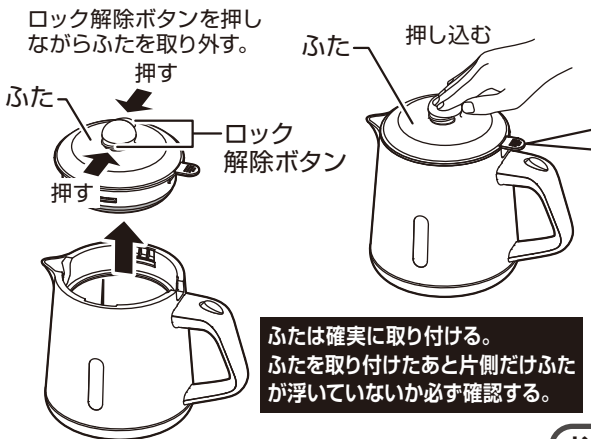
●本書は、イラストを用いて説明しています。実際の製品とは、多少異なることがあります。

使いかた

※はじめて使用するときは、使用前にP10～12の「お手入れのしかた」を参照して、本体とふたをお手入れしてください。

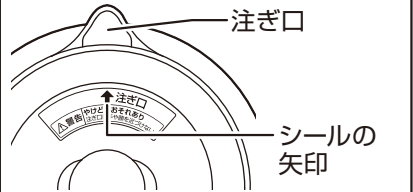
■ 本体に水を入れる

- ふたのロック解除ボタンを押しながら、ふたを持ち上げて取り外します。
- 本体に水を入れます。
水量は、1.0L以下で入れます。
- ふたの給湯レバーと本体の切り込みの位置を合わせて、ふたを本体にかぶせます。
- ふたを押し込んで、確実に取り付けます。
フックが本体にはまって「カチッ」と音がするまでふたを押し込みます。

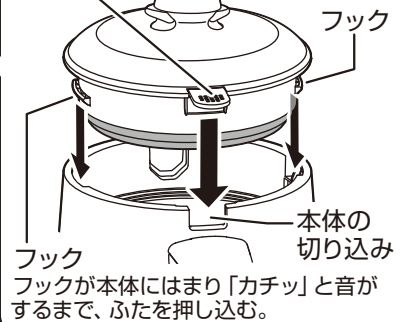


注意

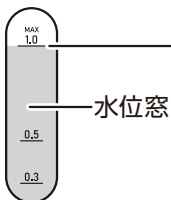
※シールの矢印を注ぎ口に合わせ、ふたをかぶせてください。



ふたの給湯レバー 給湯レバーと切り込みの位置を合わせてかぶせる。



最大水量について



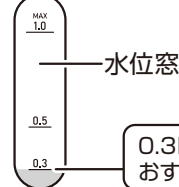
MAX目盛り以上
水を入れない。

【最大水量】

1.0L

MAX目盛り以下
で水を入れます。
(1.0L以下)

お知らせ



0.3L以上の水を入れることを
おすすめしています。

注意

※電源プレートに本体をセットしたまま、水を入れないでください。

誤って水がこぼれたとき接続部がぬれて、故障・感電・火災の原因になります。

※水を入れるときは、湯沸かしスイッチに水がかからないように注意してください。

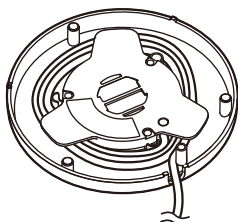
誤って水がかかると、故障・感電の原因になります。

お知らせ

- ふたの内部に可動部品があるため、ふたの取り外しや取り付け、お手入れするときにふた内部からコトコトと音がすることがありますが、製品の異常ではありません。

■ 電源プラグを家庭用コンセント (AC 100V) に差し込む

- 電源プラグを家庭用コンセントに、根元まで確実に差し込みます。
- 電源コードを電源プレートの裏面に巻きつけて、長さを調節できます。

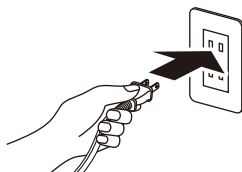


電源コードを強く引っ張って巻きつけない。

電源プレートの切り込みから電源コードを出す。



必ず結束バンドを外して、電源コードをのぼす。電源プラグを真っ直ぐ差し込む。



⚠ 警告



家庭用コンセント (AC 100V、定格15A以上) を単独で使用する

指示に従う

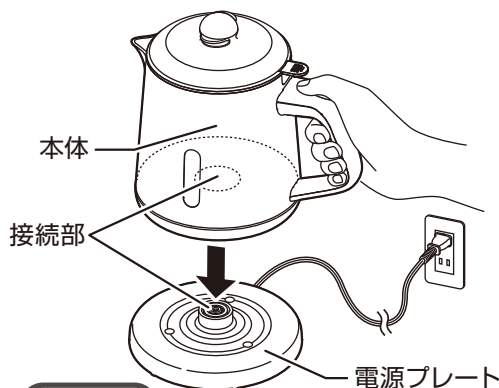
- 家庭用コンセント (AC100V) 以外で使用する、誤作動・故障の原因になります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使いかた (タコ足配線など) をすると、異常発熱・火災の原因になります。

注意

※電源プレートは、安定した水平な場所に置いてください。不安定な場所に置くと、本体や電源プレートが落下や転倒して、やけどの原因になります。

■ お湯を沸かす

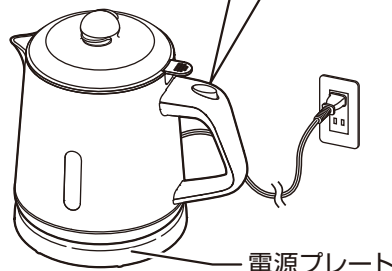
- 電源プレートに本体をセットします。
- 湯沸かしスイッチをONにすると、湯沸かしランプが点灯して加熱を開始します。
- 沸とうが完了すると、自動的に湯沸かしスイッチがOFFになり、湯沸かしランプが消灯します。
- 加熱を途中で止めたいときは、湯沸かしスイッチをOFFにします。
- 加熱中に本体を電源プレートから外すと、加熱が停止します。
電源プレートに本体をセット (戻す) すると、加熱を再開します。



湯沸かしスイッチ OFFの状態 (湯沸かしランプ消灯)



湯沸かしスイッチ ONの状態 (湯沸かしランプ点灯)



お知らせ

- 保温機能はありません。沸とう完了後は、徐々に湯が冷めます。

■ お湯を沸かす つづき

沸とう時間について

- 沸とう時間の目安 (室温25℃、水温25℃のとき)

- 水量 1.0Lのとき: 約5分

※上記の沸とう時間は、室温、水温、水量によって異なりますので、あくまで目安としてください。

空焚き防止機能について

- 空焚き防止機能が付いています。

本体に水が入っていない状態で加熱すると、空焚き防止機能が働いて加熱を停止します。

※空焚き防止機能が働いたときは、湯沸かしスイッチをOFFにし電源プレートから本体を外して、十分冷ましてください。

本体が十分冷めたら、水を入れて再び湯沸かしスイッチをONにしてお湯を沸かしてください。

沸とう後の取っ手について

※沸とう直後や連続してお湯を沸かしたあとは、取っ手が部分的に熱く感じられることがあります。

本体について

※加熱中や加熱後しばらくの間は、本体が熱くなりますので、やけどに十分注意してください。特に乳幼児が誤って触らないように注意してください。

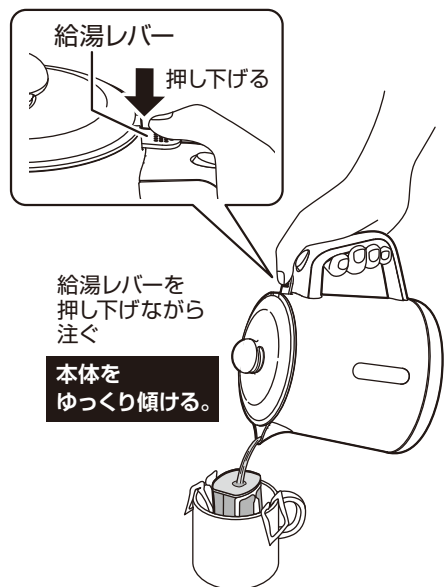
■ お湯を注ぐ

- 取っ手を持って給湯レバーを押し下げます。
給湯レバーを下げないと、お湯が出ません。
- 本体をゆっくり傾けてお湯を注ぎます。

お湯を注ぐときは、給湯レバーを押し下げないと、お湯が出ない構造になっています。これは、転倒したときの湯こぼれを最小限にするためのものですが、湯こぼれを完全に防止するものではありません。

※本体を転倒させないように、十分注意してください。

※やけどには、十分注意してください。



■ 使用後は

- 電源プラグをコンセントから抜きます。
※電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持ってください。
- 本体が十分冷めてから、P10～12の「お手入れのしかた」に従ってお手入れをします。

電源プラグを
コンセントから
真っ直ぐ抜く。



注意

- ※本体に残ったお湯は捨て、こまめにお手入れしてください。
放置しておくと、水アカの付着やにおいの原因になります。
- ※お湯を沸かしたあと、ふたを取り外すときは、ふたに付着した湯滴が落ちて電源プレートや設置場所がぬれたり、湯滴でやけどをするおそれがありますので、十分注意してください。

お手入れのしかた

- ※本製品は、飲み物に使用する機器のため、使用後はお手入れをしていつも清潔な状態で使用してください。
- ※お手入れをするときは、けがを防止するためゴム手袋を着用してください。

⚠ 警告



お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
●やけど・ショート・感電の原因になります。



お手入れのときは、十分冷めてからおこなう
●やけどの原因になります。

必ずお守りください

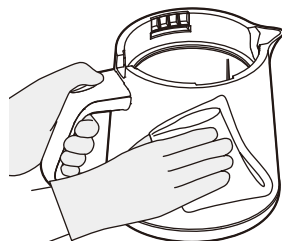
- ※お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、本体が十分冷めてからおこなってください。

■ 本体、電源プレートのお手入れ

丸洗いできません

本体外側のお手入れ

- 乾いたやわらかいふきんで、ホコリや汚れをふき取ります。
- 落ちにくいホコリや汚れは、薄めた食器用中性洗剤に浸したやわらかいふきんを、よくしぼってふき取ります。
さらに乾いたやわらかいふきんで、洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。
- ※湯沸かしスイッチや接続部は、ぬれたふきんでふかないでください。



お手入れのしかた

■ 本体、電源プレートのお手入れ つづき 丸洗いできません

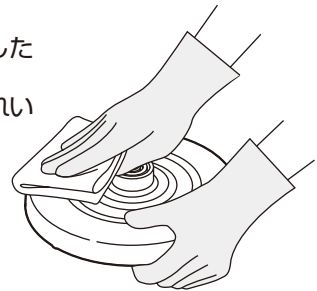
本体内側のお手入れ

- 水に浸したやわらかいふきんを、よくしぼって汚れをふき取るか、本体に少量の水を入れ、コップ洗い用のスポンジで汚れを落とします。
さらに乾いたやわらかいふきんで、水分が残らないようにふき取り、よく乾燥させます。



電源プレートのお手入れ

- 乾いたやわらかいふきんで、ホコリや汚れをふき取ります。
- 落ちにくいホコリや汚れは、薄めた食器用中性洗剤に浸したやわらかいふきんを、よくしぼってふき取ります。
さらに乾いたやわらかいふきんで、洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。
※接続部は、ぬれたふきんでふかないでください。



注意

※湯沸かしスイッチや接続部がぬれたときは、そのまま放置しないで乾いたやわらかいふきんで水分を必ずふき取り、よく乾燥させてください。
故障・感電・火災の原因になります。

本体内側底面に斑点が付着したり、底面全体が虹色に見えるときは

※本体内側底面に斑点が付着したり、底面が虹色に見えることがあります。
これは、水道水に含まれているミネラル分が付着した物で害はありませんが、下記を参照して定期的にクエン酸洗浄をおこなってください。

クエン酸洗浄のしかた

- ① 本体に水 (1.0L) とクエン酸 (30g: 大さじ約2杯) を入れてよくかき混ぜます。
- ② ふたを取り付けて沸とうさせ、その後1時間放置します。
- ③ お湯を捨て、水でよくすすいでから水を切り、乾燥させます。
※クエン酸洗浄後も斑点が残っているときは、水に浸したやわらかいふきんかコップ洗い用のスポンジで落としてから、水でよくすすいでください。
クエン酸のにおいが気になるときは、水のみを入れ再度沸とうさせてすすぎ洗いをしてください。

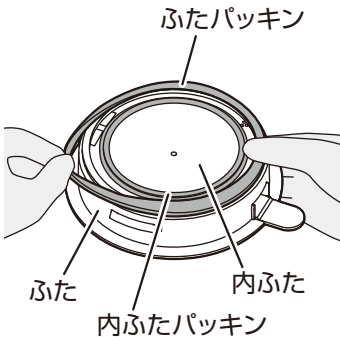
■ ふたパッキンのお手入れ

丸洗いでできます

- 食器用中性洗剤をやわらかいスポンジに含ませて、水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流して、乾いたやわらかいふきんで水分が残らないようにふき取り、よく乾燥させます。

ふたパッキンの取り外しかた

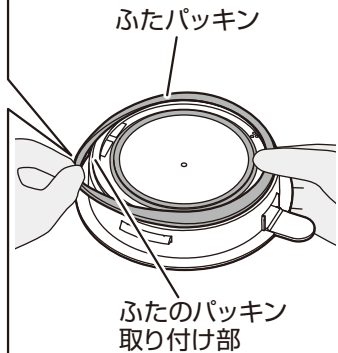
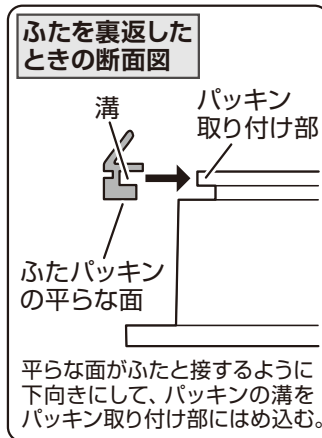
- ふたパッキンを指でつまんで軽く引っ張り、ふたから取り外します。



※内ふたパッキンは、取り外さないでください。元に戻せなくなったり、お湯がこぼれる原因になります。

ふたパッキンの取り付けかた

- ふたパッキンの溝をふたのパッキン取り付け部に、はめ込んで取り付けます。
※ふたパッキンは、平らな面をふた側にして取り付けてください。



■ ふたのお手入れ

丸洗いでできません

- 乾いたやわらかいふきんで、ホコリや汚れをふき取ります。
- 落ちにくいホコリや汚れは、薄めた食器用中性洗剤に浸したやわらかいふきんをよくしぼってふき取ります。
さらに乾いたやわらかいふきんで、洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。



お知らせ

- ふたの内部に可動部品があるため、ふたの取り外しや取り付け、お手入れするときにふた内部からコトコトと音がすることがありますが、製品の異常ではありません。

■ 保 管

- 保管の前は、必ず毎回お手入れをします。
- お手入れ後は、よく乾燥させてからポリ袋をかぶせ、直射日光や湿気を避けて保管します。
(湿ったまま保管すると、カビの発生、異臭、故障の原因になります)

注意

※電源コードの根元を曲げたり、電源コード、電源プラグに力が加わるような状態で、保管しないでください。
異常発熱・ショート・火災の原因になります。

故障かな？と思ったら

※お問い合わせや修理を依頼される前に、下記を確認してください。

症 状	原 因	処置 または お知らせ
加熱しない	● 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ ● 湯沸かし完了直後に湯沸かしスイッチを押していませんか？(ONにしていますか？)	● 電源プラグをコンセントに、根元まで確実に差し込んでください。 ● 湯沸かし完了直後は熱くなっているため、湯沸かしスイッチを押してもONにならないことがあります。 本体を十分冷ましてから再び湯沸かしスイッチを押してください。(ONにしてください)
加熱がすぐに停止する	● 本体に水を入れずに加熱していませんか？	● 本体に水が入っていないと、空焚き防止機能が働いて加熱が停止します。 空焚き防止機能が働いたときは、湯沸かしスイッチをOFFにし電源プレートから本体を外して、十分冷ましてください。 本体が十分冷めたら、水を入れて再び湯沸かしスイッチをONにしてお湯を沸かしてください。
お湯がにおう	● 樹脂部品が熱せられることで樹脂特有のにおいがします。	● においが気になるときは、下記を参照して対処してください。 ① 本体に水 (1.0L) と重曹 (15g: 大さじ約1杯) を入れてよくかき混ぜます。 ② ふたを取り付けて沸とうさせ、半日程度放置します。 ③ 水を捨て、水でよくすすぎます。
本体内側底面に斑点が付着したり、虹色に見える	● 水道水に含まれるミネラル分ではありませんか？	● 本体内側底面に斑点が付着したり、底面が虹色に見えることがあります。 これは、水道水に含まれているミネラル分が付着した物で害はありませんが、P11の「クエン酸洗浄のしかた」を参照して、定期的にお手入れしてください。

仕様

型番	ANGC-EKL10-A
電源	AC100V 50-60Hz共用
消費電力	1200W
定格容量	1.0L
製品寸法(約)	幅:230mm×奥行:160mm×高さ:225mm
製品質量(約)	960g
コード長(約)	1.0m
安全装置	温度ヒューズ

- 製品寸法は、電源プレートに対して本体を横向きにセットした状態の寸法を記載しています。
電源プレートに対して本体の向きがかわると、幅や奥行の寸法がかわります。
- 製品質量は、電源プレートに本体をセットした状態の質量を記載しています。
- 特定地域（高地、厳寒地など）では、所定の性能が確保できないことがあります。

※仕様および外観については、改良の為、予告なく変更することがあります。

・
・
・

※本製品は日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。
アフターサービスもできません。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in other countries where the power supply voltage and frequency differ. After-sales service is not available outside Japan.

アフターサービス

修理を依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(P13)をご確認ください。それでも異常があるときは使用を中止し、電源プラグを抜いてください。
- 本製品と保証書・お買い上げレシートを準備し、下記のお問い合わせ先か販売店にお問い合わせください。

修理料金の仕組み

- 修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料 診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 修理に使用した部品および補助材料代です。

保証書

保証書は記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

《保証期間中》

保証書の内容に従って修理いたします。

《保証期間が過ぎている場合》

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

※場合によっては修理できない場合もございます。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品を製造打ち切り後、5年間保有しております。

※補修用性能部品とは、本製品の性能を維持するために必要な部品です。

ご相談窓口・修理窓口のご案内

お取り扱い・修理に関しては販売店へご相談ください。

※販売店にご依頼できない場合(ご転居やご贈答品など)は下記の各お問い合わせ先にご相談・お問い合わせください

お客様の個人情報の取り扱いについて

ご提供いただいたお客様の個人情報は、ご意見・ご質問への回答および弊社のお客様サービス向上のために利用させていただきます。ご質問の内容によりましては、適切な回答のためエディオングループ、および関係会社に情報を提供する場合もございます。その他、ご提供頂いたお客様の個人情報はエディオングループ個人情報保護方針に基づいてお取り扱いいたします。

エディオングループ個人情報保護方針 <https://www.edion.co.jp/privacy>

お問い合わせ先

～本製品に関するお問い合わせ～

エディオンお客さま相談センター



受付時間：月曜日～金曜日
9:30～18:30 (土日祝・年末年始除く)

0570-07-0557

有料

※番号をお確かめの上、お掛け間違いのないようお願いいたします。※電話番号・受付時間等につきましては、変更になる場合がございます。

(2026年7月時点)

～修理に関するお問い合わせ～

家電の119番



受付時間：月曜日～日曜日
9:00～19:00 (年中無休)

0570-06-0119

有料

※年末年始に関しては受付時間が変更となる場合がございます。※番号をお確かめの上、お掛け間違いのないようお願いいたします。※電話番号・受付時間等につきましては、変更になる場合がございます。

(2026年7月時点)



愛情点検

●長年ご使用の電気ケトルの点検を！



こんな症状はありませんか

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードや電源プラグに深い傷や被覆破れがある。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 焦げくさいにおいや異常な音、振動がする。
- その他の異常や故障がある。

ご使用
中止

事故の防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。